

# クレッセ新聞

2019年8月 発行  
No. 119

発行 クレッセ動物病院  
〒263-0001千葉市  
稲毛区長沼原町794-1-1  
TEL 043-286-8796  
http://cresse-ah.com

みなさん、こんにちは☆ようやく夏本番な気温になって参りました。この季節はワンちゃんも猫ちゃんも熱中症要注意です！温度管理や水分補給にはしっかりと気を付けてあげましょう。

## 子宮蓄膿症

子宮蓄膿症とは、その名の通り子宮に膿が溜まってしまふ病気です。治療が遅れると、命を落とすことも珍しくありません。6歳を過ぎる頃、つまり中高齢のワンちゃんに非常に多く見られます。はつきりとした原因はわかりませんが発情周期に伴って分泌されるホルモンの関与が大きいとされます。発情期が繰り返されることによりリスクが高まるといふことです。また、出産歴の関与もあり、出産歴の無いワンちゃんは子宮蓄膿症を発症しやすいといわれています。

## 症状について

初期はほぼ無症状です。進行するにつれて陰部から膿状のおりものが見られるようになります。他にも元気が無い、食欲不振が挙げられます。更に症状が進み多飲多尿、嘔吐、脱水などがみられるとほぼ末期症状となり、治療が遅れると多臓器不全を引き起こし死に至ります。

## 予防・治療

予防、治療共に、第一選択は避妊手術になります。単純に子宮が無ければこの病気に罹ることは無いからです。既に発症してしまっている場合でも子宮全摘出手術として、膿の溜まった子宮を一刻も早く摘出しなければなりません。高齢で手術が難しく、軽度の場合には抗生物質などを投与し様子を見る場合もありますが、根本的な解決にはなりません。

もし、赤ちゃんを産ませる予定が無いのであれば、早々に避妊手術をすることをすすめて致します。子宮蓄膿症以外にも予防できる病気もあります。たとえば、乳房の周りにできる癌で、乳腺腫瘍という病気があります。これはもし出来た場合、犬では50%、猫では80%が悪性腫瘍と言われています。しかし、初回発症前に避妊手術をすることで、発症をほぼ防ぐことが出来るそうです。

避妊手術の時期は、一般的には初回発情が来る前の生後6ヶ月前後とされています。

小さな頃に手術をするというのは、大事に思っていればこそ、不安でなかなか決断できないことであるかと思えます。しかし将来お年寄りになったとき、命に関わるような病気に罹る可能性が一つでも減るのであれば、やる価値はあると思います。なにか気になること、疑問点があればいつでもお気軽にご相談下さい。



☆藤川看護師☆

☆西山院長☆

看護師 佐藤



今月のつぶやき

ようやく梅雨が明けて夏がやってきました。今年は梅雨らしい梅雨で、梅雨寒・長雨の後に強烈な猛暑がやって来たためか、体調がおかしくなりそうです。病院にやってくる動物も体調を崩して、食欲不振、下痢、嘔吐等が目立ち始めました。やはり、急な気温の変化の影響もあるのでしょう。熱中症はテレビ等の注意喚起で減ってきてはいるものの、死亡率の高い状態なので、ちょっとした事でもなるべく早く病院に来て下さい。

### ☆佐藤看護師☆

先月の初めに京都に弾丸日帰り旅行に行ってきました。一人で(笑)初めての一人旅だったのですが、一人の楽しさに気付いてしまいました・・・！友達と行くのとはまた違う楽しさですが、何をすることも自由で最高でした。壊滅的な方向音痴にも関わらず迷わず目的地にたどり着けて本当に良かったです(笑)それにしては新幹線って本当に高いですね・・・。往復で3万円もかかって目玉ぶっ飛びました。でももう夜行バスに揺られていく元気はありませんので仕方ないですね。時間をお金で買うと思って諦めます。

### ☆三浦看護師☆

15歳7ヶ月の愛犬が、少し前に発作のようなものを起こし、それ以来ボケの症状があり最近、夜中の徘徊がひどくなってきました。足腰が弱く、ふらつきもあるため、徘徊しながらドスン転ぶので、その度に目を覚ましてしまい、プチ寝不足です☆滑らないように滑り止めマットをひいたり、なるべく物が見えやすいように部屋を明るくしたりして工夫しています。歳を重ねると悩ましいことがたくさん増えますね～(> <) それでもかわいいけど、シニアわんちゃんの皆さんはいかがですか？

### ☆鳴澤看護師☆

先月ディズニーシーに行ってきました。その日は雨で天気の良い日もあったのかもしれませんが、入って早々レストランに入り休憩し、アトラクションもそんなに乗らずほとんどラウンジでまったりしていました。学生の頃は開園から入り、走ってファストパスを取ったりしてたのを思い出して着々と歳を重ねてるんだなと思ったディズニーシーでした。楽しい1日でした(^o^)



### 第一弾

低アルゲン トリート

当院オススメ おやつコーナー！

今月は当院に常備してあるおやつをご紹介します。今ご紹介するのは低アルゲン トリートです。名前の通りアレルギーを持った子に配慮されていて、加水分解タンパク質を使用し、オメガ3&6脂肪酸が配合されているので、皮膚の炎症や消化器症状を引き起こしやすい子に適しています。

食物アレルギーのある子は基本的ににおやつは全面禁止令を出されてしまふことが多く、なんだかわいそうだな、せめて一つでも何かあげたいな、と感じる飼い主様も多いのではないのでしょうか？

そんな時にこちらの低アルゲン トリートをお試し頂けます。勿論健康な子でも安心してお使い頂けますので、気になる方はスタッフまでお気軽にお声がけ下さい。

休診日のお知らせ

8月12日(月)

9月1日(日)

は休診日となりますのでご了承下さい。

